

はびきの Medical Net



新病院ニュース

FUTURE

NEW TOPICS

はびきのパーソン

地域医療連携NEWS

府民講座報告さーと

セミナーのご案内

PICK UP

連携医療機関のご紹介

新病院内部の一部紹介

食物アレルギー 最新治療

地域医療支援病院の取組

民活複合施設について

薬局 医療技術部

大阪はびきの医療センター循環器内科のSDGs (Sustainable Development Goals)

食物アレルギー児への栄養士による「摂取する指導」

アレルギー疾患講演会

「はびきのDチャンネル」のご報告等

「地域の保険薬局と連携する」～薬局の取り組み～

医療法人 藤田内科医院さま 医療法人 富喜会 くにさだ医院さま



地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター

新病院 ニュース

地域になくてはならない医療機関をめざして

令和 5 年 5 月 新病院 OPEN ! !

～開院に向け医療機器等の搬入が進んでいます～



<開院までの主な予定>

4月15日(土)	午前：完成式典 午後：関係者向け内覧会
16日(日)	午後：地域住民向け内覧会
5月3日～6日8時	病院情報システムの入替による休止
6日(土) 午前	入院患者移送(現病棟⇒新病院)
8日(日)	新病院での外来診療開始

地域の先生方には移転に伴いご迷惑をおかけしますがどうぞご理解・ご協力をお願いします。

◆ 医療機器の搬入・据付調整が進んでいます



ハイブリッド手術室



IVR室



結石治療センター



CT操作室 (CT組立中)

◆ 外来診察室や関係諸室も完成間近です



外来診察室



採血室



エコー室待合



病理迅速室



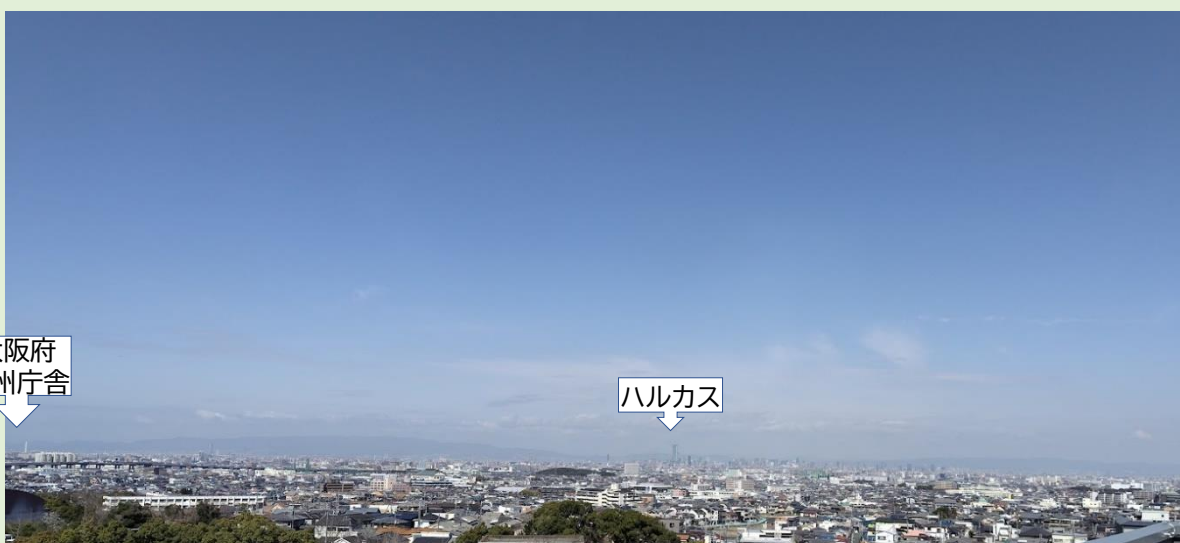
調理室



講堂

大阪府
咲州庁舎

ハルカス



6階 レストランより大阪市内方面を望む



亀田 誠 (かめだ まこと)

大阪はびきの医療センター
小児科主任部長

【略歴】

昭和63年 大阪大学医学部卒業
昭和63年 大阪大学医学部付属病院研修医
平成元年 市立泉佐野病院小児科
平成3年 大阪府立羽曳野病院アレルギー小児科
平成18年 (改組)地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科
平成21年 同 小児科部長
平成23年 同 栄養管理室室長 兼任
平成25年 大阪大学医学部臨床教授 兼任
平成27年 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科主任部長
平成29年 大阪はびきの医療センター小児科主任部長

所属学会等

日本小児科学会
(専門医、移行期支援委員会委員)
日本アレルギー学会(専門医、理事)
日本小児アレルギー学会
(常務理事、ガイドライン作成委員)
日本小児臨床アレルギー学会(理事長)
日本小児呼吸器学会
日本小児心身医学会
(移行期支援委員会委員) 等

その他の職歴

大阪府医師会学校医部会アレルギー対策委員
(平成15年、平成18年度～委員長)
大阪府教育庁
学校における食物アレルギー対応ガイドライン
作成委員会委員長(平成28年度)
改訂委員会委員長
(大阪府教育庁・大阪府医師会合同事業
令和3年度)

食物アレルギー診療の現在地

食物アレルギー(FA)は小児アレルギー専門外来で診療する疾患の中で圧倒的に多くを占めています。FAの診療では正しく診断することと必要最低限の除去を行えるよう支援することが基本です。ただ正しく診断するためには他のアレルギー疾患を十分にコントロールしなければいけません。

その上で十分な問診と血液検査、さらに必要に応じて食物経口負荷テストを行うのが基本ですが、近年増加している木の実類アレルギーの中でクルミやカシューナッツの診断にはそれぞれのコンポーネント(Jug r 1、Ana o 3)を測定することで高率に正確な診断することが可能となりました。

即時型食物アレルギーの年齢別原因食物

	0歳 (1530)	1,2歳 (1364)	3-6歳 (1013)	7-17歳 (714)	18歳以上 (230)
1	鶏卵 55.3%	鶏卵 38.3%	牛乳 20.6%	鶏卵 16.4%	小麦 19.1%
2	牛乳 27.6%	牛乳 23.1%	鶏卵 18.9%	牛乳 15.7%	甲殻類 15.7%
3	小麦 12.2%	小麦 8.3%	木の実類 18.3%	木の実類 12.9%	魚類 10.0%
4		木の実類 7.9%	小麦 10.8%	果物類/落花生 10.5%	果物類 8.7%
5		魚卵 7.4%	落花生 10.7%		大豆 7.4%
小計	95.1%	85.0%	79.3%	66.0%	60.9%

平成30年度食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業報告書
(消費者庁)より

～食物アレルギーの患者さんがおられたら当科へ～



湿疹を治療し
良い状態を維持



離乳食は5か月から

また、近年では、花粉症と関連が深い花粉-食物アレルギー症候群や、消化器症状が主体の消化管アレルギーが増加しています。前者では血液検査では特異的IgE抗体価が陰性であってもプリックテストを行うと陽性であることが少なからずあります。後者は非IgE依存性である場合が多く、血液検査は有用ではありません。

最近では、卵黄、小麦、大豆などを原因として離乳食開始後に発症する場合も増えています。残念なことに、花粉-食物アレルギー症候群も消化管アレルギーも治療は確立されておりません。私たちはこのような疾患を適切に診断、管理できるよう、そして予後について正しい情報を提供できるよう全国の専門機関とも連携して診療、研究を行っています。

食物アレルギーを予防しよう

食物アレルギーでは予防も重要な課題です。食物アレルギーは、湿疹が食物抗原の侵入門戸となって感作が成立し、その後当該の食物を経口摂取した際にアレルギー反応を起こすと考えられています。家の中にはダニと同程度以上に食物抗原が存在すると報告されています。

乳幼児期の湿疹はアトピー性皮膚炎の診断がつかなくても適切に治療することが望めます。と同時に離乳食の開始を遅らせずに種々食品を摂取することが推奨されています。あくまで皮膚炎を十分にコントロールすることが前提ですが、新生児期からの少量の牛乳摂取や離乳食早期からの鶏卵摂取がこれらによる食物アレルギーの発症を抑制することが明らかにされています。皮膚炎を持ったお子さんの保護者が離乳食にためらいを感じている場合にもぜひ当科をご紹介ください。

～新病院開院でさらなる地域連携を～

当センターは、南河内医療圏における「大阪府地域医療支援病院」として令和3年度より運営しており、地域の医療機関の先生方とともに、地域連携の充実に努めてまいりました。

5月開院の新病院においては、2階の患者総合支援センターで、すべての地域医療機関からの紹介患者さんの受付を行い、診察へと円滑につなげることができるようにしてまいります。
新病院開院にあたり、ぜひ登録医のご登録をお願いいたします。先生方と共同診療を行える開放病床を設置しておりますので、ぜひご利用のほどお願いいたします。また、病院にお越しになられた際に、自由に閲覧いただくことのできる図書室も整備いたします。勉強会の開催も随時企画いたしますので、ぜひ新病院へご来院ください。

■開放病床のご案内

当センターでは、ご紹介いただきました患者さんに入院が必要な場合、開放病床のご利用ができます。紹介医と当センターとが共同して、より適切な医療を提供し、退院後は引き続き紹介診療所において治療をお願いするものです。

なお、事前に「登録医」のご登録をお願いしています。

- 開放病床：5床
 - 対象診療科：病床をもつ全診療科 ○入院期間：原則3週間（21日）以内
 - 診療報酬：開放型病院共同指導料（予め患者さんへの説明をお願いします。）
 - *登録医（開放型病院共同指導料Ⅰ：診察時1日1回限り）350点
 - *病院（開放型病院共同指導料Ⅱ：診察時1日1回限り）220点
- 問い合わせ・申込先：地域医療連携室

■患者総合支援センター（2階）

2階（外来フロア）の中央付近に患者総合支援センターを設けました。
患者総合支援センターは地域医療連携室、患者総合相談室、入退院支援センターで構成いたします。
新病院ではがん相談についても充実させてまいります。
地域医療連携室では地域の医療機関からの紹介患者さんがスムーズに診療を受けていただけるようご案内します。



患者総合支援センター



患者相談コーナー

■勉強会、研修の実施

地域の医療機関の先生方を対象とする勉強会や研修は引き続き行ってまいります。
過去の勉強会や研修会の動画は、登録医の医療機関の先生方限定で、以下のサイトに掲載し、ログインしていただいた後、視聴可能です。

「医療機関の皆様へ」→「登録医専用サイト」
→ ID、パスワード入力して閲覧

■医療機器の共同共用

当センターでは、地域医療機関の診療業務の充実を図るため、高度医療機器（CT・MRI等）を備え、共同利用事業による地域連携を行っています。Dual Source CT装置



■図書室（3階）

3階に図書室を設け、地域の医療機関の先生方が資料閲覧や視聴ができる環境を整えております。先生方が当センターにお越しの際には、是非ご利用をお願いします。



PCコーナー



資料閲覧コーナー

<お知らせ>

民活複合施設について

病院南側に「大阪はびきの医療センター敷地の有効活用に関する事業」の事業者である、(株)ココカラファインヘルスケアにより複合施設の整備が進められてきました。令和5年5月にオープン予定である「ウェルビーイングはびきの」の概要をご紹介します。

建物名称：ウェルビーイングはびきの（運営事業者：(株)ココカラファインヘルスケア）



※各テナント事業者とは(株)ココカラファインヘルスケアが契約しています

階	テナント
1 F	調剤薬局：ココカラファイン薬局
	福祉用品販売レンタル等：愛安住
	家族宿泊施設
	ケアプランセンター・クリニック（予定）
	放課後デイサービス施設（予定）
2～4 F	有料老人ホーム ヴェルハーモニーはびきの ：総合医療サービスハーモニー

薬局 主任

澤井 祐樹
SAWAI YUUKI

ゴルフのススメ



当センターへ異動して2年目の澤井と申します。

私には様々な趣味がありますが、その中でも是非皆さんにゴルフをお勧めしたいと思います。ゴルフは難しい？いえ、そんな事はありません。中々上達しないからこそ面白いのです。下手は下手なりに上達しようと頑張り、上級者になればなるほど課題点が見つかり、ますますゴルフにハマっていきます（私は前者ですが）。

これこそがゴルフの醍醐味であり、本番のショットでイメージ通りの弾道が打てた時に味わう爽快感は他にありません。この経験を味わうと、もうあなたはゴルフの虜です。笑

また、ゴルフは昔からお金の掛かるイメージがありますが、最近は安く道具を揃えられ、プレーも出来ますので敷居はそれほど高く無いと思います。みなさんも始めてみませんか？

ちなみにゴルフ友達絶賛募集中です。



気持ちは300ヤード飛んでます



お気に入りのウエッジ



コース内は動物もたくさん



バーディーチャンス！



入るか！？



入らない！

医療技術部 放射線科 主任

西村 健太郎
NISHIMURA KENTAROU

我が家の家族を紹介します



診療放射線技師の西村と申します。

今我が家には2頭のワンちゃんをお迎えしています。

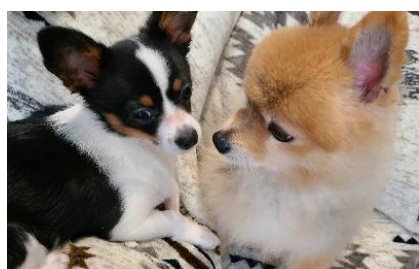
1頭はオスのポメラニアンです。もう10歳になります。顔は可愛いですがかなりの人見知りで、飼い主以外には少々厳しい態度をとってしまいます。癲癇と気管支拡張症の持病があり小さい頃から病院へ通うことが多かったです。そのためかなり手がかかった子ですが、その分思い出が多くとても愛着がある大切な家族です。

もう1頭はメスのチワコーギーです。去年迎えた新しい家族で、チワワとコーギーのミックス犬です。かなりの甘えん坊で、人が大好きなので、人を見るとちぎれんばかり尻尾を振って構ってアピールをする子です。人がソファに座るとその人の膝の上で寝ますし、布団に潜り込んできてすぐ横で寝たりするのでとても可愛いです。

2頭とも性格が全然違うので、接し方やお世話の仕方に悩む毎日ですが、この子達とこれからも素敵な思い出を作っていければと思います。



風が気持ちいいね



大切な犬たち



いざプールへ！

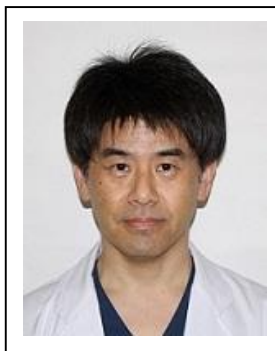


お外デビュー



遊び疲れて---

当センターでは、個性豊かなスタッフがそれぞれのセクションで明るくがんばっています。今後とも「はびきのパーソン」コーナーで紹介していきますので、少しでも当センターのスタッフに親しみを持っていただけると幸いです。



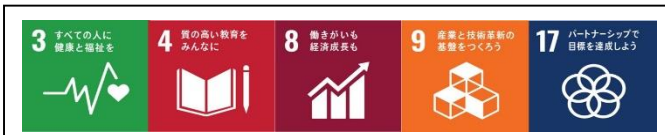
大阪はびきの医療センター循環器内科の

SDGs (Sustainable Development Goals)

大阪はびきの医療センター
循環器内科 主任部長 原田 光一郎

平素は格別のご高配を賜り、ありがとうございます。当センターは昭和27年に「大阪府立結核療養所羽曳野病院」として開院以来、時代の変化・地域医療ニーズに呼応し、府民の皆様と共に半世紀の歴史を歩んで参りました。循環器内科は平成4年に設置され、その後幾多の変遷を遂げ、現在常勤医4名、非常勤医2名の体制で、主に(1)虚血性心疾患のカテーテル治療、(2)不整脈のアブレーションやペースメーカー治療、(3)閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療、(4)心不全の集学的治療に携わっています。

昨今「脳卒中・循環器病対策基本法」が制定されたことを受け、当科においても府民の皆様の「健康寿命を延伸させる」ことを大目標に掲げ、地域医療を重視した救急/診療/治療体制を整えつつ、様々な開発目標(SDGs)に取り組んで参ります。



●診療体制のSDGs: より正確な診断を迅速に達成

新病院では、冠動脈CT検査や心筋シンチグラフィ検査等の画像診断機器は全て最新機種に刷新。特に冠動脈CTは被ばく低減と診断精度の飛躍的な向上を期待し、最上位機種を導入。心臓リハビリテーション評価に必須のCPX検査も開始予定で、患者さんにメリットのある外来検査を充実させます。



●治療体制のSDGs: 心カテ室は手術室エリアに設置

集中治療室と近接した手術室エリア内に、心臓カテーテル専用室とハイブリッド手術室を新たに2室設置致します。麻酔科・集中治療科や開設予定の心臓血管外科と密に連携を取り、心血管インターベンション治療に加え、将来的には高度で複雑な低侵襲医療（経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)や経皮的僧帽弁形成術(MitraClip)など）の導入を目指します。

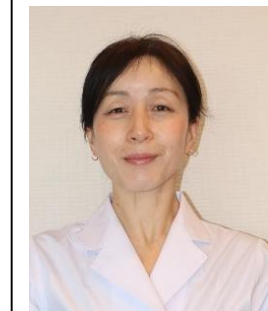


●病診連携のSDGs: 患者さんに選ばれる安心安全の病院を目指す

心血管病でお困りの場合は、疑い症例でも構いませんので、是非ご紹介ください。当科では非侵襲検査を主軸に「ワンストップ」での診断に努めており、患者さんにしっかりとご説明を行い、ご納得・ご安心頂いた上で進めることを第一としております。

食物アレルギー児への栄養士による「摂取する指導」

大阪はびきの医療センター 栄養管理室 総括主査 中村祥子



アレルギー診療ガイドライン2021には、『原因食物は安全のために除去することが原則である。しかし日常的な摂取機会が多く、将来の耐性獲得が期待できる食品（鶏卵、牛乳、小麦、大豆など）については、症状を誘発しない範囲の量、または加熱・調理により反応性が低下して摂取できる範囲を見極めて摂取する指導を行うことを目指す』と記載があります。

食物アレルギーのある患者（または保護者）では、食物に対する不安や恐怖心が強く、症状を誘発しない量・範囲であっても、摂取できないことがあります。また、負荷試験を経て、少量から数年かけて徐々に増量している場合では、食物の味や食感の変化を感じて食べなくなるという状況が生じることもあります。

このような事例では、栄養士が患者、保護者の悩みや要望を聞きながら食べられる食品を一緒に検討します。

例えば、味や匂いに敏感な場合には含有量（％）の少ないものを、摂取量が少ない方が食べやすい場合には含有量の多いものでアプローチします（図1）。

また、加工食品では製造者によって配合や原材料、栄養量が異なるため、表示を確認し、たとえ少量の配合であっても注意が必要である食品について具体的に説明します（図2）。

除去解除の判断はガイドラインにおいて、『日常摂取量を自宅で症状なく摂取できることを複数回確認した後に行う。学校給食における除去解除は実際に給食で提供される量を目安とする。』と記載があります。



(図1) 乳製品のたんぱく質含有量に基づいた同等量の比較

同じ『食パン』でも乳たんぱく質含有量が異なります！

食パンA	食パンB
原材料 小麦粉、砂糖、ショートニング、 脱脂粉乳 、イースト、フード(V.C)、食塩	原材料 小麦粉、砂糖、 バター 、 入マーガリン 、パン酵母、食塩、米粉、醸造酢

(図2) 食パンの原材料の比較

保護者と一緒に献立を確認し、同献立または同等量の摂取を促します。また、給食後の昼休みは活動量が多くなりますので、体調不良や食後に運動をした場合などを含め、十分な期間症状が誘発されないことが確認できれば、医師から除去解除の許可があります。「摂取する指導」においては、患者、保護者との密接なコミュニケーションを通して生活状況や食べることへの思いを知り、生活に取り入れやすい具体的な指導を行うことが最も重要だと感じています。

府民講座報告 さるーと

大阪はびきの医療センター アレルギー疾患講演会

令和5年2月26日（日）



令和5年2月26日（日）に、大阪はびきの医療センター アレルギー疾患講演会がWEB講演会として開催されました。

この講演会では、府民の皆さま、特にご家族がアレルギー疾患の方、保育園や学校関係者の方などを対象に、『専門医が伝えたいアレルギー疾患治療のコツ』と題してアレルギー疾患について正しく理解していただくことを目的として開催しました。

Session 1 は「意外と知らない花粉症 ～アレルギー性鼻炎の新常識～」として、耳鼻咽喉・頭頸部外科 医員 河辺隆誠 先生に花粉症が重症化すると、生活への影響が大きいことなどをご説明いただきました。

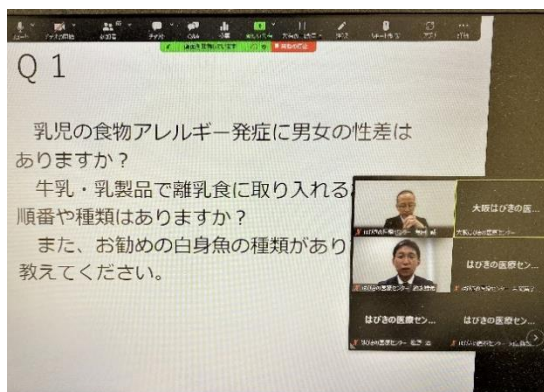
Session 2 では小児科 医長 釣永雄希先生に「意外と知られていない子どものアレルギーのこと」として小児科からの視点としてこどもに起こる様々なアレルギーについて、気をつけるべき点などを丁寧にお話しいただきました。

Session 3 ではアレルギー・リウマチ内科部長 松野 治先生に「共に歩む喘息治療」として喘息は救急の病気から、慢性疾患へ移行し、コントロールを良好に保つことの重要だというお話がありました。

Session 4 では、副院長 兼 皮膚科主任部長 片岡葉子先生に「ここまで進化したアトピー性皮膚炎 最新の治療・最善の治療」として、アトピー性皮膚炎は複雑な病態を示しているが、治療法の開発がめざましいこと 適切に治療法を選択することが重要だということを、詳細にご説明いただきました。

司会の亀田先生の進行のもと、活発な質疑応答もなされ、聴講いただいた方にも有意義な時間であったのではないかと思います。

当センターは大阪府のアレルギー拠点病院として、今後も医療機関の先生方、府民の皆様にも情報発信を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



WEB講演の様子



講演会後 講演者一同

セミナーのご報告

はびきのDチャンネル (epiode11) を開催しました

◆令和5年3月23日(木) 14:00~15:00 WEB開催 (ZOOMミーティング)
大阪はびきの医療センター皮膚科 地域連携カンファランス

◆「プライマリケアにおける皮膚科診療のTips」

ナビゲータ

副院長兼皮膚科主任部長

片岡 葉子

【症例報告】

①強い疼痛をともなう両下腿の発赤腫脹および結節性紅斑様皮疹

益田 知可子

②骨髓炎を併発していた指趾難治性皮膚潰瘍の3例

②- 1 抗生剤無効の蜂窩織炎として紹介された手指皮下膿瘍

益田 知可子

②- 2 高齢者の虚血性趾端潰瘍

益田 知可子

②- 3 関節リウマチに合併した糖尿病性足潰瘍

阿古目 純

★特別出演 整形外科副部長

谷内 孝次

③難治性下腿潰瘍を初発症状としたクリオグロブリン血症の1例

阿古目 純

④血漿交換療法により早期ステロイド漸減が可能となった糖尿病

合併尋常性天疱瘡の1例

益田 知可子

⑤口唇、陰部粘膜の難治性皮膚潰瘍を呈した粘膜扁平苔癬の1例

木村 優香

◆対象：医療関係者（職種不問。皮膚科専門医以外の先生方の参加も歓迎。）

◆参加費：無料

* 当日参加いただきました皆様、ありがとうございました。

令和5年度の主なセミナーの予定

はびきのアカデミー

第10回・令和5年6月10日(土) 開催など年3回予定

SOCC (医療でつなぐ地域医療ネットワーク)

年1回予定 (開催時期調整中)

* 各診療科におけるセミナーも順次実施します。
詳細が決まり次第、お知らせいたします。

はびきのDチャンネル、大阪アズマネットワーク、
はびきの耳鼻咽喉科セミナー、看護セミナーなど



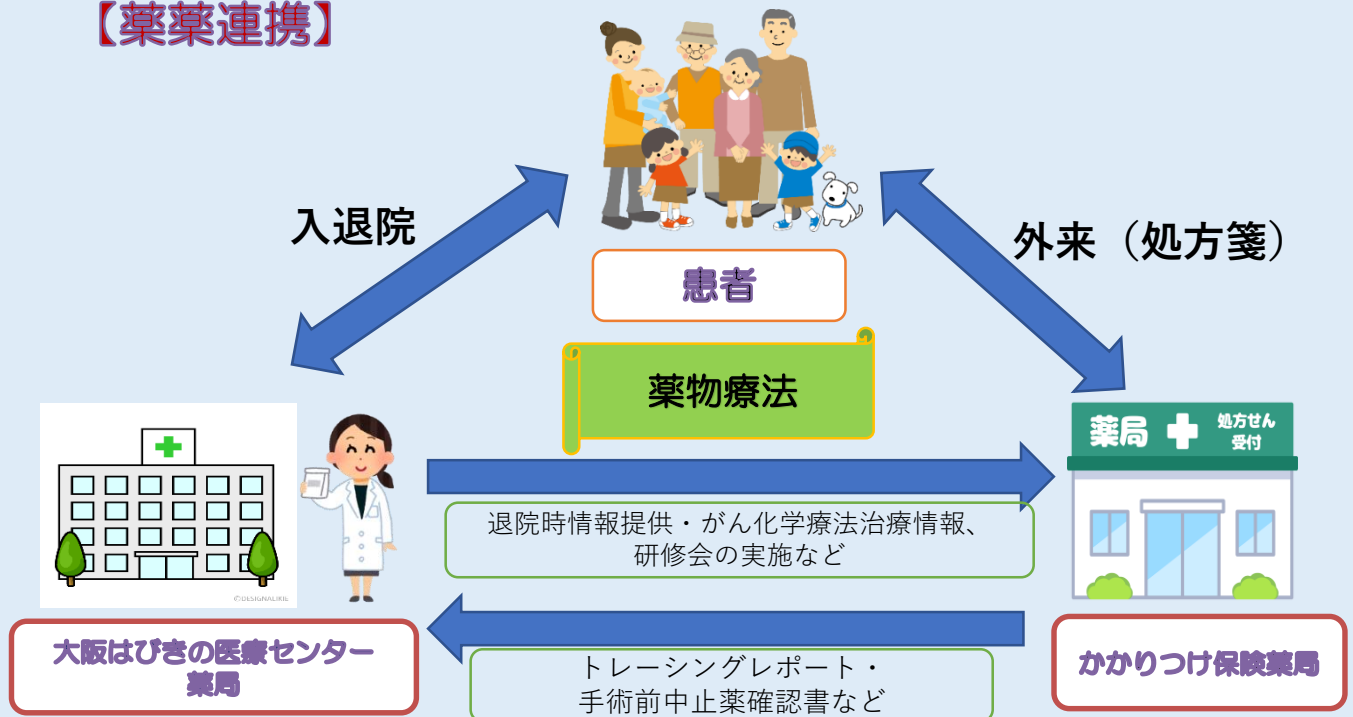
PICK UP

「地域の保険薬局と連携する」～薬局の取り組み～

当センターの薬局では薬物療法の入院支援として、薬剤師が手術予定患者の入院前中止薬の確認や、入院中の治療薬の内容を退院時に保険薬局へ情報提供して、患者さんを地域で支援しています。

患者さんに安心して治療を受けていただくために、地域の保険薬局と連携して、よりよい薬物療法の実現を目指しています。

【薬薬連携】



- 安心して入院治療ができるよう、服用中の薬の飲み方や副作用症状などの情報を、保険薬局から引き継ぎ、活用させていただきます。
- 退院後は、在宅でも保険薬局にサポートしていただけるように情報提供に努め、地域の薬剤師との連携をさらに深めてまいりたいと思います。なお、がん化学療法を受ける患者さんの適正な投与管理を目的に、がん化学療法レジメンをホームページ（薬局）で公開していますので、ご活用ください。
- 外来化学療法に関わる、地域の薬局に勤務する薬剤師の皆さんを対象に、がん病薬連携研修会を行っていますので、ご参加ください。
- トレーシングレポートや色々な取り組みについては、ホームページ（薬局）の「保険薬局の皆様へ」をご覧ください。

登録レジメン一覧

がん種

肺がん	悪性胸膜中皮腫がん	胃がん
乳がん	大腸がん	食道がん
卵巣がん	子宮がん	MSI-High
その他		

◆がん化学療法 登録レジメン（がん種）

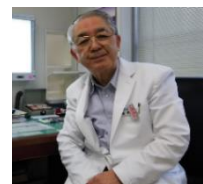
連携医療機関（登録医）のご紹介

医療法人 藤田内科医院

〒583-0027 藤井寺市岡2-2-26 岡本ビル1階（イオン藤井寺ショッピングセンターに近接）

電話 072-954-7707 URL：開設準備中

1984年の開設以来、循環器内科、呼吸器内科をはじめとして内科全般にわたって広範に対応し、皆様の健康面のサポートをさせていただいています。2018年の夏からは、副院長も含めた常勤医師2名の態勢となりました。胸部X線や心電計（24時間ホルター心電図および血圧脈波検査可）、超音波（甲状腺・腹部・心臓・頸動脈）などの検査装置を備え、患者さんに対し分かりやすく丁寧な説明を心掛けています。今後も、大阪はびきの医療センター様など地域の基幹病院との関係を大切にし、連携を強化してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30-12:00 (受付11:30まで)	○	○	○	/	○	○	/	/
14:00-17:00 (受付16:30まで)	○	○	○	/	○	/	/	/

医療法人 富喜会 くになだ医院

〒584-0005 富田林市喜志町3-7-5 藤和喜志ハイタウン1階

電話 0721-24-0330 URL：<https://www.kunisada-c.com/>

駅を降り立つと金剛山と葛城山の山並みが迎えてくれ、西日を浴びた時には三二信州を思わせる穏やかな富田林喜志町に開業し、約9年が経過しました。コロナ禍当初から職員の協力を得て発熱外来を開設し、昨年は400例弱の陽性者の初期治療や入院紹介を行いました。検査は心、頸部、腹部エコーやホルターを自院で、CT、MRIや内視鏡検査ははびきの医療センターなど周辺の病院様へお願いするなど入院含め積極的に病診連携をとらせていただいております。今後も地域に期待される医療提供に努めてまいります。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
16:00-19:00	○	○	○	/	○	/	/	/

開錠時間：午前診 午前8:00／午後診 午後3:20

地域医療支援病院である当センターでは、地域の医療機関と当センターが協力のもと相互の機能を有効に活用し、診療情報の交換などによって医療連携を深め広げることにより、地域全体として患者さんにとってより質の高い医療を提供していくことを目的として登録医制度を実施しています。ぜひ登録をお願いいたします。ご質問や登録ご希望の先生方はお手数ですが地域医療連携室までご連絡をお願いします。

受診についてのお願い

- ◆ 紹介状をお持ちであっても、あらかじめ診察の予約が無い場合は診察待ち時間が長くなることや、受診出来ない場合がありますので、可能な限り事前に診察や検査の予約（地域予約）をしていただくようお願いします。
- * 呼吸器内科、肺腫瘍内科は事前のご予約が必要な完全予約制となっております
（事前ご予約なしの当日受診はできませんのでご了承くださいますようお願いいたします。）
- * 皮膚科、アレルギー・リウマチ内科、感染症内科、耳鼻咽喉・頭頸部外科の受診には紹介状が必要となっております。
- ◆ 当センターでは、症状が安定してきた患者さんは、地域のかかりつけ医の先生方へ積極的に逆紹介を行っています。病状の変化等で、再度精査が必要な際は、当センターへのご紹介をお願いいたします。

地域医療支援病院として紹介・逆紹介をさらに推進してまいります

<院内診療科のご案内>（令和5年3月現在）

感染症内科 肺腫瘍内科 緩和ケア科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科
アレルギー・リウマチ内科 小児科 消化器外科 乳腺外科 眼科 呼吸器外科 皮膚科
産婦人科 放射線科 泌尿器科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 歯科 麻酔科
リハビリテーション科 病理診断科 臨床検査科 整形外科（R4.4開設）集中治療科
外来化学療法科 呼吸器内視鏡内科 救急診療科（R4.4開設）腎臓内科（R4.7開設）



地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター

私達は、最新の医療水準で、最適な医療サービスを、思いやりの心をこめて提供します。

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1

TEL：072-957-2121(代)

<https://www.ra.opho.jp/>

FacebookやInstagramも
ぜひご覧ください



Facebook



Instagram